

国内グループ会社

ゼオンポリミクス

会社紹介

ゼオンポリミクスは、日本ゼオンの合成ゴムを用いたゴムコンパウンドの製造を担う会社として 1967 年に設立されました。

日本ゼオンの持つ優れた合成ゴムと、創立以来培われた当社のコンパウンド技術が相乗し、工業用ゴム部品などの素材として当社ゴムコンパウンド製品は多くの分野で使用されています。特に耐熱性、耐油性、耐摩耗性などの当社特殊ゴムコンパウンド分野では、自動車の機能ゴム部品の素材として使用されるなど、多くのお客様から厚い信頼を得ています。

暮らしと産業を技術と信頼でささえるため「高品質企業を目指そう」をスローガンに、高い製品品質、高い会社品質でお客様のニーズに応えます。



ゼオンポリミクス

環境安全活動

1. 産業廃棄物のゼロエミッション 100%継続

2011 年に最終埋立処分量ゼロを達成し、以降 廃棄物の減量化に向け 3M(ムリ、ムダ、ムラ)の観点より工程内ロス削減や梱包材料などの再資源化の取り組みを行っています。2014 年度は、条例改正に従い一般廃棄物の一部を産業廃棄物に変更したことで、昨年度より埋立処分量が微増しましたが、今後とも発生した廃棄物は再利用や他への有効活用を積極的に進め、廃棄物の減量化に向けた取り組みを推進していきます。

2. CO₂ 排出量の削減

2014 年度の温室効果ガスの排出量削減の取り組みとして、省エネ型機器や LED 照明などの採用を積極的に行っています。また、電気依存にはなるものの燃料転換としてボイラー使用設備を止め、温室効果ガスである二酸化炭素(CO₂)排出量の削減に努めています。今後は電力量削減に向け、デマンドを解析して効率の良い生産体制を確立し、環境対策へ結びつけていきます。

3. 環境関連データ

ゼオンポリミクス(株) 大津事業所		2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	5	5	5	5	5
	使用量(トン)	148	165	146	122	113
	排出量(トン)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
産業廃棄物	減容前発生量(トン)	195	171	155	148	160
	埋立処分量(トン)	25	4.0	0.0	0.0	0.0
水資源(工業用水+地下水+上水道)使用量(千 m ³)		-	45	50	49	48
CO ₂ 排出量(トン)		2,230	1,938	2,631	2,740	2,860
エネルギー使用量(原油換算、kL)		1,697	1,573	1,534	1,416	1,388

地域との共生活動

1. 水害防止訓練への参加

2013 年の台風 18 号による洪水被害を受け、今後発生しうる水害を軽減するために、地元の企業として消防機関をはじめ地域自主防災組織と合同で行われた水害防止訓練に参加しました。消防局の方から必要な資材や器具の名称、用途などの説明を受けながら実際に訓練を行い、必要な器具をいかに正しくかつ要領よく扱うかを学ぶことができました。自社の防災訓練においても今回の訓練内容を取り入れて、災害発生時の体制強化と周知・教育に活かしていきます。参加した意義は高く、今後もこの活動を継続します。



水害防止訓練で土のうをつくる

2. 琵琶湖の生態系を守る活動に参加

2014 年 5 月 25 日に、琵琶湖の生態系を守る活動として、「琵琶湖を戻す会」主催の外来魚駆除大会に参加しました。前々回の第 11 回大会以来、今回が 2 回目となり、従業員と家族あわせて総勢 52 名と大変多くの方が参加しました。釣り成果は参加人数に比例せず 100 匹程度にとどまり、少し残念な結果となりました。滋賀県が誇る琵琶湖の生態系を守る活動は環境保護に大いに役立ちます。さらに、家族参加型のため、従業員同士は勿論、家族のコミュニケーションにも大いに役立っています。地域活動の環境改善の一環として、今後も精力的に参加していきます。



琵琶湖外来魚駆除大会